

Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス

スポーツくじ
WINNER
LOTO
BIG

2024
No. 112
Summer

全国加盟団体代表者正会員会議・定時社員総会

ロチャース杯 第23回東京オープン・ダンススポーツ選手権

ダンススポーツグランプリ in 京都 & 北海道

目指せパリオリンピック・ブレイキンJOC結団式 & 壮行会



<http://www.jdsf.or.jp>



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

第44回三笠宮杯

JDSF Japan DanceSport Federation

スポーツクリ
WINNER 1000 BIG

全日本ダンススポーツ選手権

全日本PDダンススポーツ選手権

(毎日新聞社杯 併杯)

JDSFダンススポーツランキングポイント取得競技会 WDSF世界選手権代表選考

三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権
三笠宮杯全日本PDダンススポーツ選手権(毎日新聞社杯併杯)
全日本シニアIダンススポーツ選手権

JOCジュニアオリンピックカップ全日本選手権ジュニア
毎日新聞社杯全日本選手権ジュブナイル
ライジングスター戦(サブアリーナ、決勝メインアリーナ)

PHOTO (2024年度各部門ランキング1位)
※本年の大会出場は決定していません。

全国から集まる精鋭たちの熱き戦いを、
ぜひ会場でお楽しみください

2024年10月19日(土) 10:30~19:00・20日(日) 10:00~18:00

東京体育館 ◆ JR総武線「千駄ヶ谷」駅前 ◆ 都営大江戸線「国立競技場」駅前

入場券		前売券	当日券
アリーナ階席	プレミアS券(指定席:アリーナ 円卓席1列目)	15,000円	15,500円
	S券(指定席:アリーナ 円卓席2列目)	10,000円	10,500円
	AA券(指定席:アリーナ・長辺階段席)	7,000円	7,500円
	A券(指定席:アリーナ・短辺階段席)	5,000円	5,500円

※プレミアS、S、AA、A券はすべてプログラム付料金です。C券の方はプログラム別売り500円となります。
※大人、小人、同価格

主催:公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟

特別協賛:株式会社ブルボン

特別後援:毎日新聞社(申)

後援:スポーツ庁(申)／東京都(申)／公益財団法人 日本スポーツ協会(申)
公益財団法人 日本オリンピック委員会(申)

チケット発売要項

- 1) JDSF会員はJDSF各所属団体へお申し込みください。
- 2) お問合せ 【三笠宮杯大会事務局】
〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階
(公社)日本ダンススポーツ連盟内
Tel:03-6457-1858 受付時間10時~17時(平日)
Fax:03-6457-1857 Eメール:MainEvents@jdsf.or.jp

入場券		前売券	当日券
2階席	2階A ロイヤル券(指定席:北側2階ロイヤルボックス)	6,000円	6,500円
	2階A券(指定席:北側2階Bブロック、Cブロック1~3段)	4,000円	4,500円
	B券(自由席:2階)	2,000円	2,500円
	Bセット券(自由席:2階 2日間通し券)	3,000円	3,500円
3階席	C券(自由席:3階)	500円	1,000円

インターネット
チケット販売は
第44回三笠宮杯
特設サイトを
ご覧ください。



ブルボン は、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟の活動を応援しています。

おかげさまで100周年

100 2024

ブルボン Since1924

2024年度全国加盟団体代表者・ 正会員会議



6月22日（土）、JDSFのダンススポーツトレーニングセンター（DTC）において、2024年度全国加盟団体代表者・正会員会議が開催されました。この日は天候にも恵まれ、全国の都道府県連盟の会長や役員など、総勢約50名の参加がありました。



岸尾政弘事務局参与

会議は岸尾政弘事務局参与の司会進行で始まりました。最初に、日本初の常設の総合LGBTQ+センターであるプライドハウス東京の共同代表、野口亜弥氏により「スポーツと性の多様性」をテーマにしたWeb講演がありました。LGBTQ+のお

さらいから入りましたが、該当者が5～10%いることや、対象は多岐にわたっており、スポーツ界においても様々な課題があることがわかりました。まずは知り、理解することが重要だと感じました。

次に中道俊之専務理事より、資料に基づいて2023年度



中道俊之専務理事

の事業報告がありました。成り行きに任せたのでは、未来は悲観的な状況に陥ることが予想されますが、ダンススポーツ普及中長期計画を実行することにより、ダンススポーツ愛好者が増え続けている、ありがたい姿に近づきたい、と説明されました。

野口亜弥 スポーツとジェンダー・セクシュアリティ/スポーツと開発

⚽ サッカー選手現役（3歳～25歳）
日本、アメリカ、スウェーデン（プロ契約）
十文字高校⇒京大⇒フランクフルト大学大学院/NY Magic⇒Linköping FC



⚽ サッカー選手を引退後（～現在）
ザンビアのNGOでスポーツを通じた女子教育⇒スポーツ庁面談
順天堂大学スポーツ健康科学部（助教）⇒成城大学（専任講師）
プライドハウス東京共同代表／一般社団法人S.C.P. Japan設立・代表（2020年～）



LGBTQ+とは？

Lesbian（レズビアン）

性自認が女性で恋愛対象も女性の人

Gay（ゲイ）

性自認が男性で恋愛対象も男性の人

Bisexual（バイセクシュアル）

恋愛対象が女性にも男性にも向いている人

Transgender（トランスジェンダー）

生まれた時に割り当てられた性別と性自認が一致していない、違和感を持つ人。

Queer（クワイア）

性自認や性的指向が定まっていない、あるいは意図的に定めない人

※LGBTQ+だけに収まらない性の多様性を「+」で表します。

LGBTQ+に該当する人は約**5～10%**



野口亜弥氏より「スポーツと性の多様性」について説明を受ける



川上勲経理部長

続いて川上勲経理部長より、2023年度決算について、前年と比較した資料に基づいて説明があり、正味財産が24百万円増加したとの報告がありました。

休憩を挟んで、中道専務理事より、ダンススポーツ普及中長期計画に基づく試みが東京オープンで実施され、特に観る人を増やす努力をどのように行なったか、の説明がありました。

次に山田淳副会長より、パリオリンピックに向けたブレイキン最新情報の報告と、各県での国民スポーツ大会（以下、国スポ）参加を見据えた取り組みについての要請がありました。各県において課題となっている、社交ダンス人口の高齢化による自然減を補うために、PDの協力を得ること。また、ブレイキンとのコラボにより若者文化との接点を開発すること、などの提案がありました。



山田淳副会長

国スポ公開競技開催に向けて 長野県連の取組と課題



長野県ダンススポーツ連盟
会長 百瀬 芳正



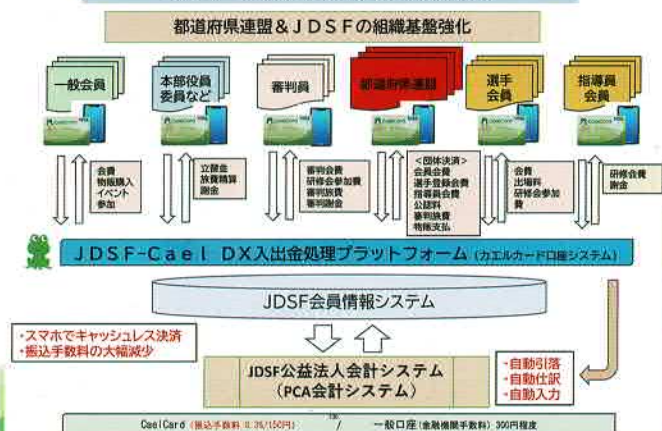
2024年6月22日（土） JDSF全国代表者会議

百瀬芳正長野県連盟会長より「国スポに向けての長野県連盟の取り組み」についての報告

そして、百瀬芳正長野県ダンススポーツ連盟会長より、国スポ公開競技開催に向けての長野県連盟の取り組みと、これまでの状況やジュニア育成の取組み、課題、今後の予定についての報告がありました。

更に金子和裕常務理事より、「2028年長野国スポ公開競技に向けた対応」と題して、実施競技の選定スケジュール、公開競技の選手構成、ジュニアの育成の推進、などが説明されました。

JDSF-Cael DXシステム概略図



金子和裕常務理事からは「JDSF-CaelDXシステムについて」の説明

引き続き財務委員会委員長である金子常務理事により、「JDSF-Cael DXシステムについて」と題して、CaelCardシステムによる経理のDX化と、都道府県連盟への展開計画についての説明がありました。

次に、谷口主嘉デジタル・コミュニティ推進部長と大谷晃也副部長より、オンラインショップ本格稼働の報告と今後のスケジュールの説明がありました。



デジタル・コミュニティ推進部 谷口主嘉部長



大谷晃也副部長



参加者を10班に分けてのグループセッション

2回目の休憩の後、席替えを行い、参加者を10班に分けて、グループセッションとギャラリーウォークが行われました。今回は「出てみたい競技会、イベント」をテーマに、参加者を増やすためのアイデア出しを行いました。が、限られた時間でしたので、深い議論には至りませんでした。



興水洋一広報部長

最後に、広報部長の興水洋一より、広報誌「Dance Dance Dance」のデジタル化計画についての説明と、DDDの現状を把握するために予定しているアンケートの協力依頼がありました。

全ての議題が終わり、質疑応答で本日の会議は締め括られ、話し足りない方は懇親会場の「ロハスカフェ ARIAKE」に場所を移しての延長戦と相成りました。



「ロハスカフェ ARIAKE」での懇親会風景

2024年度 定時社員総会



布村幸彦会長



市原則之副会長



鈴木一夫監事



事業報告や議案の説明をするJDSF理事



賛成の札を掲げる正会員の皆さん

代表者会議の翌日、6月23日(日)午前10時よりDTCにて2024年度定時社員総会が開催されました。司会進行の岸尾政弘事務局参与による開会の辞のあと、布村幸彦会長から「昨日からブダペストでパリ五輪の代表をかけたブレイキンの最終予選が行われていますが、男子2枠女子2枠を獲得してパリ五輪に臨んでいただければと思います。スタンダード・ラテンについても東京オープンを4年ぶりに開催できました。2028年の国民スポーツ大会長野大会からダンススポーツが公開競技として参加することが決まったので、これを機に各都道府県の組織も強化していただきたい」と挨拶がありました。

続いて、市原則之副会長より「スポーツの普及は高い山があって裾野が広がる、と言われています。ブレイキンがパリ五輪で素晴らしい成績を上げていただくことが絶好のチャンスだと思いますので、皆さんでしっかり応援していきましょう」と力強い言葉をいただきました。

その後、定足数の確認、議長の選出（平川順一大阪府

DS連盟副会長）、議事録署名人指名を行ったのち、議案の審議に入りました。

第1号議案 2023年度事業報告及び収支計算の件は、事業報告については中道俊之専務理事より、収支決算書については金子和裕常務理事より報告が行われ、鈴木一夫監事により監査報告が行われました。第1号議案は賛成多数で承認されました。

第2号議案 2025年度正会員選挙に関する選挙管理委員長等指名の件は中道専務理事の説明ののち、賛成多数で承認されました。

報告事項は2件あり、中道専務理事からはパリ五輪派遣方針が、金子常務理事からは国民スポーツ大会第5期実施競技選定についての報告がありました。

以上をもってすべての審議事項、報告事項を終了し総会は閉会いたしました。

(JDSF広報部長 興水洋一)

貸借対照表

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	119,131,183	163,167,078	△ 44,035,895
未収会費	283,000	91,500	191,500
未収金	55,261,099	8,653,708	46,607,391
前払金	10,166,272	5,504,500	4,661,772
棚卸資産	12,784,532	13,680,741	△ 896,209
立替金	1,170,223	917,595	252,628
前払費用	2,358,611	2,269,752	88,859
仮払金	0	0	0
流動資産合計	201,154,920	194,284,874	6,870,046
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立定期預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
未来タンスアスリート育成資産	6,554,931	7,455,336	△ 900,405
リネ・アップメント準備金	25,000,000	25,000,000	0
特定資産合計	31,554,931	32,455,336	△ 900,405
(3) その他固定資産			
建物付属設備	2,689,967	4,148,381	△ 1,458,414
什器備品	4,249,317	1,840,604	2,408,713
電話加入権	405,510	405,510	0
商標権	56,922	68,304	△ 11,382
ソフトウェア	38,004,644	26,903,120	11,101,524
特許権	437,500	587,500	△ 150,000
敷金	10,074,600	10,074,600	0
その他の固定資産合計	55,918,460	44,028,019	11,890,441
固定資産合計	137,473,391	126,483,355	10,990,036
資産合計	338,628,311	320,768,229	17,860,082
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	65,998,701	9,420,109	56,578,592
未払費用	1,210,310	195,520	1,014,790
前受金	5,381,500	18,055,847	△ 12,674,347
前受会費	16,080,300	25,092,700	△ 9,012,400
預り金	3,121,575	7,156,692	△ 4,035,117
仮受金	1,238,926	1,399,926	△ 161,000
1年返済借入金	0	3,000,000	△ 3,000,000
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	4,886,900	3,236,100	1,650,800
流動負債合計	97,988,212	67,626,894	30,361,318
2 固定負債			
長期借入金	0	37,000,000	△ 37,000,000
固定負債合計	0	37,000,000	△ 37,000,000
負債合計	97,988,212	104,626,894	△ 6,638,682
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取寄付金	6,554,931	7,455,336	△ 900,405
特定預金運用益	6,554,766	7,455,246	△ 900,480
	165	90	75
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	6,554,931	7,455,336	△ 900,405
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	234,085,168	208,685,999	25,399,169
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(25,000,000)	(25,000,000)	(0)
正味財産合計	240,640,099	216,141,335	24,498,764
負債及び正味財産合計	338,628,311	320,768,229	17,860,082

正味財産増減計算書(第13期)

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,002	1,000	2
受取会費	51,350,500	54,858,500	△ 3,508,000
競技会事業収益	115,202,017	103,798,797	11,403,220
研修事業収益	7,005,910	7,331,440	△ 325,530
その他の事業収益	251,181,128	172,934,121	78,247,007
受取助成金等	76,938,611	65,076,731	11,861,880
教材物品販売	9,075,136	8,507,887	567,249
受取寄付金	1,400,480	1,698,068	△ 297,588
雑収益	2,069,841	1,640,900	428,941
経常収益計	514,224,625	415,847,444	98,377,181
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	33,617,421	28,987,491	4,629,930
会議費	2,668,387	847,106	1,821,281
海外派遣費	52,601,958	16,955,562	35,646,396
旅費交通費	18,698,496	31,378,346	△ 12,679,850
審判旅費交通費	17,491,525	15,272,304	2,219,221
通信運搬費	6,781,729	7,524,037	△ 742,308
減価償却費	11,455,569	9,975,927	1,479,642
印刷製本費	16,155,792	16,114,719	41,073
地代家賃	11,546,484	12,909,706	△ 1,363,222
競技研修等会場費	52,780,140	37,357,305	15,422,835
教育研修費	41,337,892	23,007,407	18,330,485
委託費	107,334,123	72,683,641	34,650,482
教材等制作費	5,250,951	3,591,069	1,659,882
その他	84,913,122	69,193,583	15,719,539
事業費計	462,633,589	345,798,203	116,835,386
管理費	26,191,867	27,267,227	△ 1,075,360
経常費用計	488,825,456	373,065,430	115,760,026
当期経常増減額	25,399,169	42,782,014	△ 17,382,845
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取助成金等(新型JIT)			0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	25,399,169	42,782,014	△ 17,382,845
一般正味財産期首残高	208,685,999	165,903,985	42,782,014
一般正味財産期末残高	234,085,168	208,685,999	25,399,169
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
特定資産運用益	75	90	△ 15
一般正味財産への振替額	△ 900,480	△ 1,548,068	647,588
当期指定正味財産増減額	△ 900,405	△ 1,547,978	647,573
指定正味財産期首残高	7,455,336	9,003,314	△ 1,547,978
指定正味財産期末残高	6,554,931	7,455,336	△ 900,405
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	240,640,099	216,141,335	24,498,764

2024年6月25日の定時総会において承認された2023年度貸借対照表と正味財産増減計算書です。

独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成事業2023年度実施状況

●くじ助成

事業名	実施結果	助成金確定額	助成金の使途
第18回 オールジャパンジュニア・ ダンススポーツカップ 2023 in 高崎 (於：高崎アリーナ)	ユース、ジュニア、ジュブナイル、 女子高校生、女子中学生、小学4～ 6年生、小学1～3年生の各部門で、 スタンダード、ラテンの2区分を行っ たほか、ソロ競技を中学生と小学生 以下の2区分で実施した。 また、競技経験のない小学生2年以 下を対象としたチャイルドダンス等を 行った。	1,283,000	・審判員、実行委員への謝金 及び交通費 ・会場借用料 ・大会プログラムの作成 ・競技用背番号 ・その他
ドーピング検査推進事業	ブレイキン全日本選手権において実 施したドーピング検査にNf.repを派 遣した。	22,000	・Nf.repに対する謝金と交通費
広報誌（Dance Dance Dance）発行	春夏秋冬の4回の広報誌を遅延なく 発行することができ、当連盟の運営 状況や幅広い会員の活動を全国の会 員等へ発信することができた。	6,796,000	・広報誌の印刷費 ・広報誌の梱包、発送 ・取材のための旅費
日本スポーツマスターズ 2023 福井大会記念事業 ダンススポーツ競技大会	年齢30歳以上の選手を対象に年代 別5区分を実施した。 このうち、区分Ⅱ、Ⅳ、Ⅴについては、 世界ダンススポーツ連盟シニア大会 の日本代表選考会とした。	1,751,000	・審判員、実行委員への謝金 及び交通費 ・会場借用料 ・大会プログラムの作成 ・競技用背番号 ・その他
小 計		9,852,000	

●基金助成

Asian World Dance Festival 2023	世界ダンススポーツ連盟（WDSF） 公認競技会としては、PDオープンス タンダード、ラテン等4区分を、また、 JDSF 公認競技会としては、シニア Ⅱスタンダード等6区分を実施した。	7,401,000	・会場費及び設営費 ・大会公認料 ・チラシ・ポスター・看板制作代 ・メダル、トロフィー代 ・役員・審判員謝金旅費
小 計		7,401,000	

●競技力向上助成

選手強化NF事業		48,336,000	・選手強化活動 ・コーチ力強化 ・次世代アスリート育成強化事業 ・強化活動のDX推進支援事業
小 計		48,336,000	

●全体

合 計		65,589,000	
------------	--	------------	--



ロチャース杯

第23回 東京オープン・ダンススポーツ選手権

興奮と感動の熱き競演！

2024年5月18日(土)・19日(日)／東京体育館

第23回東京オープン・ダンススポーツ選手権は、二日間にわたり5年振りに東京体育館で開催されました。本大会は、我が国最大のダンススポーツ国際大会として1999年3月、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館において第1回大会が開催されています。

注目のメイン競技、WDSF インターナショナルオープン・スタンダード競技とWDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード競技には共に世界ランキングトップ選手が出場。合計25カ国から6競技・延べ232組、ジュブナイル、ジュニアⅡのソロダンス8競技延べ272名が出場しました。世界トップレベルのアスリートの競技を堪能しようと、館内は満員の観客で熱気溢れる大会となりました。

中道俊之大会実行委員長（JDSF専務理事）の開会宣言、星野晴信チェアパーソン（競技部長）より競技上の諸注意があり競技は始まりました。



満員のお客様



中道俊之大会実行委員長



星野晴信チェアパーソン

グランドセレモニー

WDSF旗の入場が続いて25カ国の国旗と共に選手審判員のオープニングパレードでセレモニーは始まりました。



オープニングパレード



日本代表の選手 プラカードを持つ今井正幸・由香組

WDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード

新たにPD部門として出場予定の優勝候補エヴァルダス ソデイカ & イエヴァ ソデイキーネ組はソデイカ選手の緊急手術により来日できず、現世界チャンピオンで世界ランキング1位のエドガース リニス組が3種目

(W、VW、SF) を制し見事に優勝を飾り、2種目 (T、Q) を制したエドガース バルタラギス組が準優勝。期待のオレクシー グザー & 太田吏圭子組は準決勝第9位と健闘しました。



優勝
エドガース リニス & エリザ ライン組 (ラトビア)
Edgaras Linis & Eliza Line



準優勝
エドガース バルタラギス &
インドル バルタラージ組 (リトアニア)
Edgaras Baltaragis & Indre Baltara



第3位
アレクセイ ブレディキン &
ダリア ブレディヒナ組 (アルバニア)
Alexey Bredikhin & Daria Bredikhina



第4位
ツァオ ユアン & ワン シーメン組 (中国)
Cao Yuan & Wang Ximeng



第5位
アレッサンドロ イラリオニ &
オーロラ スバルデッラ組 (イタリア)
Alessandro Ilarioni & Aurora Sbardella



第6位
ジャン・ジーイン &
ジャオ・ユイエ組 (中国)
Jiang Jiying & Zhao Yuye



準決勝 第9位

オレクシー グザー & 太田吏圭子組 (日本、リズメディア)

ヴェレナ シュレク (Verena Sulek) WDSF-PD会長 開会宣言



WDSFを代表してお祝い申し上げます。前回の東京オープンから5年を経てまた皆様にお会いでき、心から嬉しく思います。PD部門の創設にご尽力頂いたWDSF名誉幹部会会員・故田邊重光様のことが思い浮かびます。田邊春海夫人にご出席頂き感謝申し上げます。そしてすべてのスポンサー様、特にロヂャース様に厚く御礼申し上げます。選手の皆様頑張ってください

WDSF インターナショナルオープン・スタンダード

昨年のWDSFグランドスラム出場全てに優勝、今年のヨーロッパ選手権にも優勝したアレクセイ グルホフ 組が5種目すべてに1位を獲得し優勝。日本選手は大西大

晶組、小嶋みなと組の2組が決勝に進出し、観衆の拍手喝采を浴びました。チューダー&吉川組は惜しくも準決勝第7位となり決勝入りは果たせませんでした。



優勝
アレクセイ グルホフ & アナスタシア グラズノヴァ組
(モルドバ) Alexey Glukhov & Anastasia Glazunova



準優勝
マルコ ボディニ & クリスティーナ チャリト
ノヴァテ組 (リトアニア)
Marco Bodini & Kristina Charitonovaite



第3位
エゴール ニコラエフ & リー ジェリー組 (香港)
Egor Nikolaev & Lee Jerry



第4位
ジャンルカ ディメルフィ & ジョル
ジア チェッリ組 (オランダ)
Gianluca Di Melfi & Giorgia Celli



第5位
大西大晶 & 大西咲菜組 (富山県)



第6位
小嶋みなと & 盛田めぐみ組 (神奈川県)



準決勝 第7位
チューダー & アンドレイ & 吉川あみ組 (東京都)

準決勝で全力を出し切って踊り、更に決勝は良いパフォーマンスができたと思います。小嶋・盛田組と2組が決勝に残り大会を盛り上げることができて良かったです。また、世界チャンピオンと何度も同じヒートになり、風を感じながら楽しく踊ることができました

主催者挨拶



布村幸彦 JDSF 会長

WDSF東京オープンとは2019年を最後にコロナ禍により開催できませんでしたが、5年振りに東京体育館に戻ってまいりました。開催にあたりWDSF、東京都、参加各国のダンススポーツ連盟、そして多くの企業からご協賛を頂きました。特に北辰商事ロチャス様からはロチャス杯を賜りました。ダンススポーツの世界は、今年のパリ五輪のブレイキン(ブレイクダンス)競技では日本選手の活躍が男女ともに期待されています。そして2028年長野国体(国スポ)からダンス競技が公開競技として開催されることになりました。若いジュニア・ジュブナイルの選手もぜひ国体目指して頑張ってください。スタンダード競技やラテン競技もオリンピック参加を目指して尽力してまいります

ご挨拶



渡邊知秀 東京都生活文化スポーツ局長

東京オープン無事開催でき嬉しく思います。コロナ禍ではこれまで経験したことがないことが沢山ありましたが、皆様のご協力により東京都としてもなんとか乗り切れたことを感謝申し上げます。東京都は、東京五輪の後もスポーツの力で一人一人が健康になり、人生を豊かにし、そして元気にするスポーツ振興に取組んでおります。ダンススポーツはジュニアからシニアまで非常に多くの皆様が楽しんでいるスポーツであり、我々の目指すものと一致しますので東京都は共催いたしました。東京都は来年、世界陸上と耳に障害のある方のオリンピック（デフリンピック）を開催します。皆様の応援をよろしくお願いいたします



太田順康 北辰商事 株式会社ロチャース社長

本大会には25カ国から世界トップクラスの選手、11カ国の審判員に参集頂いています。本大会でも採用されていますが、瞬時に結果が判明する正確無比で公明正大なJDSFの採点システムは素晴らしいと思います。また、ソロ競技は世界の流れであり国体でも採用されています。北辰商事は埼玉県スポーツ少年団小学生野球大会や自転車競技も応援していますが、本大会はロチャース杯として応援しております。開催に当たりJDSFの役員関係各位に御礼申し上げます

ご来賓の祝辞



盛山正仁
文部科学大臣

本日出場の選手の皆様の熱気のこもった素晴らしい演技を繰り広げていただき、まことにありがとうございます。ダンススポーツはダイナミックな美しさを競う競技スポーツとして、片や、体力向上や健康増進のための生涯スポーツとして幅広い年代に親しまれ、長年に渡り発展を遂げられました。1999年の第1回大会以降、我が国最大のダンススポーツ国際競技会として歴史を積み重ねてきた本大会が、2日間に渡りこの東京体育館で盛大に繰り広げられます。国内外のトップ選手がしのぎを削り、頂点を目指す姿は、多くの人々に勇気や感動をもたらすと共に、スポーツの素晴らしさ、美しさを力強く伝えてくれます。本大会の成功とダンススポーツの益々のご発展を祈念申し上げます



枝野幸男 衆議院議員 (立憲民主党)

世界のトップ選手が多数参加される本大会は、多くの皆さんに興奮と感動をもたらし、日本のダンススポーツを大きく発展させる貴重な機会となるでしょう。ダンススポーツはダイナミックな美しさを競う競技として多くの皆さんを楽しませていると共に、心身のバランスや健康増進のため、中高年を含めた多くの皆さんに生涯スポーツとしても親しまれています。ダンススポーツの重要性は益々高まっていくでしょう



田中良生 衆議院議員
(自由民主党)

東京オープン開催まことにおめでとうございます。100年近く前にフレッド・アステアとジンジャー・ロジャースが組んで踊る数々の名作映画のダンスシーンから、ダンス好きの先代の社長が社名をロチャースにしたと伺っています」とロチャースの社名の由来を披露され、「そして、なんとと言っても優れた技術と美しさを融合した競技がダンススポーツです。見るものにとっても活力そして感動を与えるものです



西田実仁 参議院議員
(公明党)

古来、日本を問わず世界でも、喜びや悲しみなど様々な感情を表現する時は必ずダンスがありました。今日の大会でも様々な思いや感情を演技に表現し、見ている者にも大いに刺激を与えて頂きたい。この後のパフォーマンスに期待いたします

この他にも葉梨康弘衆議院議員 (自由民主党) の紹介や、川内博史衆議院議員 (立憲民主党) はラテンA級現役選手との紹介もありました。また、新藤義孝衆議院議員 (経済再生担当大臣、自由民主党)、村井秀樹衆議院議員 (内閣官房副長官、自由民主党) の祝電も披露されました。

ご来賓・貴賓室にて



特別協賛の北辰商事(株)ロチャース専務取締役・太田美輪様 (左から5人目)。右隣はベレナ・シュレクWDSF-PD会長



円卓席の
ワゴンサービス



前列 ダティン・晴代・ロー様、布村JDSF会長と大会役員

WDSF オープン・ラテン



優勝
ヤクブ リボフスキ & テレザ クチェロヴァ組 (チェコ共和国)
Jakub Lipowski & Tereza Kucerova



準優勝
ヴィタリー ザハロフ & タベア ルイザ ターラー組 (ドイツ)
Vitalii Zakharov & Tabea Louisa Thaler



第3位
エゴール ニコラエフ & リー ジェリー組 (香港)
Egor Nikolaev & Lee Jerry



第4位
大西大晶 & 大西咲菜組 (富山県)



第9位
海老原拳人 & タカギルナ組 (千葉県)



第11位
チューダー アンドレイ & 吉川あみ組 (東京都)



第5位
アレッサンドロ クンソロ & サラ リヴィエリ組 (サンマリノ)
Alessandro Cunsolo & Sara Livieri



第6位
ブッティボン コンサクル & マンチューサ ケウブルク組 (タイ)
Puttipong Kongsakul & Manchusa Kaewpluk

第12位 (U-25La優勝) 今西竜矢 & 大西陽来里組 (ブルボンDST)

WDSF シニアIVオープン・スタンダード



優勝
ブルーノ ラザレスキ & イダ ゾッタ (イタリア)
Bruno Lazzareschi & Ida Zotta

優勝を狙っていたので準優勝は少し残念。曲の後半バテましたが良い勉強になりました。シニアの国際大会が日本で開催されることは大いに意義があり、継続して開催いただくとシニアの励みになります



準優勝
松村健樹・松村栄子組 (奈良県)



第3位
今井正幸・今井由香組 (東京都)



第4位



第5位

大塚勝男・大塚孝子組 (埼玉県)



第6位

石川誠一・石川美智子組 (新潟県)

冬野英和・冬野朋子組 (千葉県)

JDSF U-25オープン・スタンダード



優勝 中村エドワード漸 & 中村エリザベス永理組 (東京都)
準優勝 ダニエル リン & ケ チウエン組 (台湾)
第3位 アヌチャ ウィジットクーン & パスラポン パンデック組 (タイ)
第4位 太田歩生 & 松本京佳組 (北海道)
第5位 ホワイトン謙心 & ホワイトン夏奈実組 (ブルボンDST)
第6位 小林才時 & 小西乙愛組 (ブルボンDST)



優勝
中村エドワード漸 &
中村エリザベス永理組 (東京都)



準優勝
ダニエル リン &
ケ チウエン組 (台湾)
Daniel Lin & Ke ChiWen



第3位
アヌチャ ウィジットクーン &
パスラポン パンデック組 (タイ)
Anucha Wijitkoon &
Pasraporn Phandech

JDSF U-25オープン・ラテン



優勝 今西竜矢 & 大西陽来里組 (ブルボンDST)
準優勝 ホワイトン謙心 & ホワイトン夏奈実組 (ブルボンDST)
第3位 濱田琉成 & 鈴木柚葉組 (栃木県)
第4位 タンイー シアン & パーニス アイウ ウェン組 (マレーシア)
第5位 小林才時 & 小西乙愛組 (ブルボンDST)
第6位 ツェー チューク ヒン & チューイ ホン ユー ナタリー組 (香港)



優勝
今西竜矢 & 大西陽来里組
(ブルボンDST)



準優勝
ホワイトン謙心 & ホワイトン夏奈実組
(ブルボンDST)



第3位
濱田琉成 & 鈴木柚葉組
(栃木県)

ソロダンス競技について

ソロダンス競技は近年WDSFでも開催されるようになり、昨年から世界選手権も開催されました。2028年長野県国体(国スポ)からダンススポーツは正式な公開競技となり、少年の部ではソロダンス競技も予定されています。各自がパートナーに制限されることなく、自由に弾けるような踊り、多彩なパフォーマンスを表現できる楽しみな競技としてこれからの発展が注目されます。

JDSF ソロ ジュニアIIオープン・サンバ



今日の優勝は意外でした。元気の有り余るパートナー(準優勝の宮澤めぐ選手)に負けるかな?と思っていました。ソロよりカップルで踊る方が踊りやすいです



優勝
藤枝大河
(ブルボンDST、中学3年生)

JDSF ソロ ジュニアIIオープン・チャチャチャ



本当は両方優勝したかったので、少し悔しい気持ちもあります。ラテンはソロ競技の方が伸び伸び踊れるので好きです

宮澤めぐ (ブルボンDST、中学3年生)

JDSF ソロ ジュニアIIオープン・ワルツ



優勝でき感謝の気持ちで一杯です。ソロ競技でも相手をリードするように心掛けています。カップルでは個性を出して観客に感動を与えるような踊りがしたいです。9月のジュニア世界選手権に出場するので今日は勉強になりました

吉岡栄太 (東京都、中学3年生)

JDSF ソロ ジュブナイルIIオープン・サンバ



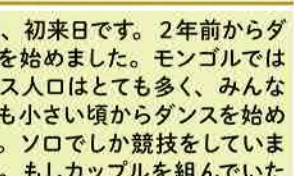
優勝
アリミラ ボロトハン
(モンゴル)



11歳、初来日です。2年前からダンスを始めました。モンゴルではダンス人口はとても多く、みんなとても小さい頃からダンスを始めます。ソロでしか競技をしていません。もしカップルを組んでいたら、ソロ競技には出場できません。モンゴル国内でのルールです。ソロ競技は大好きですが、将来はパートナーとカップルを組んで踊ると思います

JDSF ソロ ジュブナイルIIオープン・チャチャチャ

優勝 アリミラ ボロトハン (モンゴル)



JDSF ソロ ジュニアIIオープン・クイックステップ

優勝 吉岡栄太 (東京都)



JDSF ソロ ジュブナイルII オープン・ワルツ



アリミラ ボロトハン
(モンゴル)

JDSF ソロ ジュブナイルII オープン・クイックステップ



大塚千栄 (京都府)



初めての東京オープンで、本当はラテンの方が好きなのですが、スタンダードで優勝できて嬉しいです。二人で踊る方が好きですが、ソロの練習も毎週やっています。今年の目標は三笠宮杯とオールジャパン戦で優勝することです

優勝インタビュー

WDSFインターナショナルオープンスタンダード優勝 アレクセイ グルホフ & アナスタシア グラスノヴァ 組(モルドバ)

前回2012年のグランドスラム東京大会に参加、それに2011年にも参加する予定で来日しましたが、東日本大震災で直前に開催中止。これで3回目の来日ですが、今までで最高の気分です。何故なら、どこかしこもとても暖かい雰囲気だからです。ダンサーや人々に対する気遣い、心遣いが素晴らしいです。このような大会の開催を可能にし、又このようにレベルの高い大会を運営してくれたJDSFに感謝しています。願わくば、この大会がグランドスラムとして開催されることを願います。それほどJDSFは素晴らしい運営をしています。ありがとうございます。一度コンペのフロアに立ったら、音楽をよく聴いて感じ取り、お互いの雰囲気や関係やコネクションを感じ、観客との繋がりを、沢山のことを感じます。それはとても素晴らしいことです。今年すでにヨーロッパチャンピオンシップで優勝しているので、10月にドイツで開催のワールドチャンピオンシップは大きなチャンスだと思っています。日本の選手へのアドバイスがあるとしたら、自分を信じ全力を尽くすこと。自分の周りで起きているすべての事にインスピレーションを受けて下さい。ダンスでもダンス以外にも構いません。そのことが自分のダンスを向上させます。あとは沢山練習してください。明日はハリー・ポッターを観に行きます。すごく楽しみです



WDSF オープン・ラテン優勝

ヤクブ リボフスキ & テレザ クチェロヴァ 組 (チェコ共和国)

初来日、予想していなかったで、呼ばれたときすごく嬉しかったです。涙しました。ありがとうございます。日本でパフォーマンスできてとても良かったです。美しい会場とフロアは最高!それに観客のみなさんも素晴らしいです。そしてこうして世界中でパフォーマンスできる事を幸せに感じています。それが私たちのスタイルです。私たちの大きな目標は、どのようにコーチ達とコミュニケーションをとり、どのように彼らと練習に励むかという事です。さらに、いかに観客が私たちのダンスを楽しむかという事です



WDSF PD スーパーグランプリスタンダード優勝 エドガース リニス & エリザ ライン 組 (ラトビア)

カップルを組んで19年、5度目の来日です。前回の2019年東京オープンではWDSFワールドオープンに出場し第3位でした。今日は最高の気分です。すべての瞬間を楽しんでいます。5回目の東京ですが、観客の皆様がとても暖かく、私たちをホームのように迎えてくれましたので、ここでパフォーマンスできた事は大きな喜びでした。私たちは、ラトビアのリガがホームタウンです。今までのすべての人生をそこで過ごし、毎日練習しています。実は今回はプロフェッショナル(PD)になって始めて、息子連れて来ない大会になりました。息子は、いつも私たちと一緒に遠征していましたが、今は少し大きくなって困らせる事もあるので。私たちに一つ重要な事はお互いに(目標や考えを含め)同じ場所にいる事です。それぞれの考えが違ふことがあってはならないと思っています。例えばそれが一つでも二つでも...。同じ意見や考えを持つことを一番に考えており、それが私たちのダンスの基になっています



WDSF シニアIVオープン・スタンダード優勝 ブルーノ ラザレスキ & イダ ゾッタ 組 (イタリア)

初来日、67歳と63歳の夫婦です。45年間踊っています。このような美しい会場で行なわれる素晴らしい大会に出ることができて大変光栄に思います。私たちは本当に幸せです。皆さんが大好きです。日本はとても美しい国ですが、イタリアからはとても遠いです。12時間かかりましたし、時差は7時間あります。昨日はなかなか眠れませんでした。ここで踊れるという喜びが私たちに力を与えてくれました。この素晴らしい経験を私たちの心に刻みたいと思います。ダンスは心です。ダンスは気持ちです。まずは心で踊るのが一番で、次にコンペティションがあると思います



U-25オープン・スタンダード優勝

中村エドワード漸 & 中村エリザベス永理 組 (東京都)

優勝できてとても嬉しいです。中国でのU-21世界選手権でベスト24に残れなかったのが悔しくて、しっかりトレーニングを積みコンディションを整えて本大会に臨みましたが、将来はダンス関係の仕事をしたいと考えています。今年はジャーマンオープンのU-21に初挑戦します。将来必ずや世界のファイナリストになるので、皆さま応援よろしくお願いします!



U-25オープン・ラテン優勝

今西竜矢 & 大西陽来里 組 (ブルボンDST)

16歳の高校1年生と17歳の高校3年生です。去年の三笠宮杯ではお互い別のカップルでしたが、この新カップルで優勝できてとても嬉しいです。国際大会の出場は初めてなので、良い経験になりましたし、課題もたくさん見つかりました。今年は世界選手権にも出場する予定です。陽来里は毎週末、富山から東京に通っています。組んで半年、強いリーダーですが課題は沢山。最近兄姉(大西大晶、大西咲菜)からあまりアドバイスがもらえないので、ライバル視されているのではないかと思います(☺☺陽来里)



ジュニアアスリートクラブ優秀選手表彰式



ジュニアアスリートクラブ表彰

ジュニアアスリートクラブは2012年1月より活動はスタートしました。ジュニア選手の1年間の成績をポイントに置き換え、2023年度の優秀選手上位21組に、その栄誉を称えJDSFより賞状と奨励金が授与されました。将来の活躍が期待されるジュニア選手の皆さんに、盛大な拍手と大きな声援が贈られました。



溝口稔ジュニア育成部長より栄誉を称え表彰状と奨励金が授与されました。

東京都協賛事業

本大会は、東京都国際スポーツ大会開催支援事業の支援大会として、東京都の支援を受けて開催されており3つの事業が実施されました。

- ・大会開催にあたりボランティアスタッフの募集
- ・観戦無料300組（600名）のご招待とアンケート調査
- ・観客参加型ダンスイベント ダンス体験教室

5月18日（土）は、スニーカーや運動靴で誰でも参加できる体験イベント「みんなで踊ろう！ダンス体験会」。そして18・19日の両日はダンスタイム「Shall we dance?」が開催されました。



東京都観戦ご招待者様・御案内口



ルでワルツとタンゴの2曲を踊り、その後ミキシングに移行、ダンスを存分にお楽しみいただきました。

握手会

海外トップ選手との握手会は初めての試みでしたが、2日間共に1時間で約70名の参加がありました。「良い思い出になります」とのコメントも頂きました。

5月18日=WDSFスタンダード世界チャンピオン：
アレクセイ グルホフ&アナスタシア グラズノヴァ組
（モルドバ）

5月19日=WDSF-PDスタンダード世界チャンピオン：
エドガース リニス&エリザ ライン組（ラトビア）



握手会一番乗り

アンケート調査記帳コーナー

本大会は、東京都国際スポーツ大会開催支援事業の支援大会として、東京都の支援を受けて開催しております。都と連携したスポーツ振興事業の一環として、体験会を実施いたしました。体験会に参加された方には、入場時に配布したアンケートの記帳をお願いしました。



ダンス体験会

みんなで踊ろう！どなたでも、そして運動靴、スニーカーでも誰もが参加出来るダンス体験会。インストラクターは、日本サルサ協会認定指導員ベト・センゼイ（Beto Senzey）氏



ご来場者さまお楽しみ抽選会

ご来場の皆様に抽選で素敵な賞品のプレゼントがありました。

ロジャース杯 第23回 東京オープン プレゼント企画 賞品 ロジャースA賞 リュザンド アンブルクリーム 5名様/日	ロジャース杯 第23回 東京オープン プレゼント企画 賞品 ロジャースB賞 スカーフ付アパレルセット オリジナルデザイン クッションファンデーション 5名様/日	ロジャース杯 第23回 東京オープン プレゼント企画 賞品 ロジャースC賞 アクティブスポーツリフレックス のびるストレッチボール（カラーボール） 紳士・婦人用各1個 10名様/日
ロジャース杯 第23回 東京オープン プレゼント企画 賞品 ブルボン賞 オリジナルエコバック & 扇子各1個 2名様/日	ロジャース杯 第23回 東京オープン プレゼント企画 賞品 JDSF賞 Dance Sport CD Vol. 32 15名様/日	
ブルボン賞	JDSF賞	

誰でも参加できるダンスタイム「Shall we dance?」

東京体育館のフロアは格別、誰でも参加できる皆様のダンスタイムでは、フロアにお集まりいただいたカップ

東京オープン 「WDSFシニアⅣスタンダード」 への道のり

シニア選手会会長 岩瀬 純夫

2013年にベルギーで開かれたWDSFシニアⅢ世界選手権に出場した著者と奥様の恵里子さん



「東京オープン」と「三笠宮杯」は競技選手なら誰しも出場を夢見る国内二大会です。その東京オープンに熟年選手が出場できるようになるとは思ってもよらぬ幸事でした。というのも、このようなビッグコンペから熟年競技区分が無くなってから20年ほど経つからです。長らく開催されることのなかった熟年対象の競技会が、ついに東京オープンで復活しました。

この念願の大会で、11年前、12組の選手団を結成し「シニアⅢ世界選手権」にチャレンジした選手の多くが再結集を果たしました。これにはボランティアで育ててきたシニア選手会の存在も欠かせなかったと思います。シニア選手会は熟年選手が世界選手権に出場しようと活動してきたことで生まれ、その後も選手間のネットワークとして絆を育んできました。

思えば13年前、偶然YouTubeでシニアⅢ世界選手権の入場行進を見たことがすべての始まりでした。歳を経てなお、競技にチャレンジする熟年選手が世界にはこれほど沢山いるのだ、と。300組を超える選手の入場行進を見たとき、熱い血が騒いだことを昨日のことに思い出します。しかしこの大会、日本は最も選手人口が多い区分にもかかわらず、誰も出場していませんでした。

なぜ日本から誰も出場しなかったかがわかりました。開催国がWDSF加盟各国に招待状を出すも、日本にはその体制がありませんでした。世界選手権に出場するには全日本選手権が必要ですが、(当時の呼び名の)「全日本グランドシニア選手権」は廃止されたまま、熟年選手が個別に復活をお願いするには無理があり、これが選手会発足のきっかけでした。

選手会としてお願いし、これまで実現してきたものは、全日本グランドシニア選手権の復活、ミドル、グランドシニアなどの呼称をWDSF標準のシニアⅡ、Ⅲへ、シニア競技会審査員数増と質の向上、その他、多くの熟年競技会の競技制度を改善していただきました。これはダンスをダンススポーツとして活動する日本スポーツ協会加盟のJDSFだからこそ対応していただけたことと感謝しています。

発足時の経緯からシニアⅢスタンダード選手中心の会員でしたが、シニアⅢ世界選手権にラテン種目が追加されたことからラテン選手も加わり、現在ではシニアⅠからⅤまで、シニア系全般を包括したシニア選手会として活動しています。主な役割として、シニアⅢ以上の世界選手権の出場募集と資格審査、開催国へのエントリー取り次ぎ、シニア選手のための情報の共有と相互扶助、スポーツ個人助成制度活用促進、そしてシニア競技環境改善のための活動です。

11年前、初めて日本人選手が12組チャレンジしたシニアⅢ世界選手権、この時の参戦記が2013年のDDD67号にあ

ります。この文末で、「伝説の12組」で終わるか定かでないが…」と書きましたが、これはシニアⅢ以上の熟年は現役を継続するのが難しいからです。

しかし11年もの歳月を乗り越え、10組が、この東京オープンで再会を果たしました。この間、コロナ禍だけでなく大病をした人もおり、各人には実に様々な試練があったと思います。しかしダンスには想像を絶する効用があり、踊ることが無理とあきらめかけた人ほど、そのことを強く認識したのではないかと思います。もし「人生にダンスがなかったなら」どうなっていたらと考えると、「ダンスと出会っていたことの幸運」を、この東京オープンで再会を果たした時、きっと強く感じたことでしょう。

東京オープンで、「何故シニアⅣか?」ということですが、その決定に至るまでには多くのことがあったと思います。おそらくその重要な要素に、年代別にあるWDSF世界選手権スタンダードで、シニアⅣだけが日本人選手2組決勝入りの快挙を達成したことです。つまり日本の熟年選手のスタンダードは世界のトップレベルであるという事実です。

このシニアⅣ年代やその上の団塊世代のいわゆる“熟年選手”が、日本のダンス界を下支えしています。人が活力ある人生を送るには生涯、スポーツが欠かせません。生涯(ダンス)スポーツには引退という概念はありません。縁あってダンスと出会い、喜びも悲しみもその年輪にあり、そして隣にはいつもダンスがありました。熟年選手は人生百年を目指し、生涯ダンスを手放さないでしょう。

大勢の観客を魅了するメインの競技区分は大会の花です。それをさらに盛り上げ、そのイベントを支えるのは、選手でもあり地域の指導者でもあり、時にイベントの主催者でもある熟年選手です。熟年選手の活力を、日本のダンス資産として共生していくことが今も、これからもダンス界に求められていることだと思います。そのためにも、JDSFの二大会のどちらかで、今後とも熟年選手の競技区分が継続されることを願っています。



2024東京オープン「WDSFシニアⅣスタンダード」に出場したシニア選手会のメンバー

ダンススポーツグランプリ & PDグランプリカップ in 京都2024

2024年4月21日(日)/西宇治体育館

宇治平等院の
藤の花

本年度のグランプリシリーズは京都から始まりました。JDSF-GD近畿中四国ブロックとJDSF-PD西部ブロックの献身的な協力の下、西宇治体育館で今年も開催されました。鈴江潔チェアパーソン(徳島県)の競技上の諸注意から競技はスタートしました。競技種目が盛りだくさんで最終種目のA級Stまで息も付かせぬ名司会の谷口小夜子さんに助けられて、採点システムの若干の支障があり一時的に進行遅れも見られましたが、ほぼ予定通りの時間で競技は終了しました。



鈴江潔チェアパーソン
(徳島県)



谷口主嘉大会実行委員長(京都府DS連盟会長)と小夜子ご夫妻

グランプリ ラテン

決勝ソロ競技の最初はシニアの星、押川・和田組が登場し、洗練されたダンスを披露。シニア選手唯一の決勝入りを果たしました。まだ組んで半年足らずの今西・大西組は早くも初のグランプリ決勝進出。大西陽来里さんは優勝候補筆頭の大西兄妹ペアの妹で銅メダルを獲得、大西兄妹3人が表彰台上がりました。



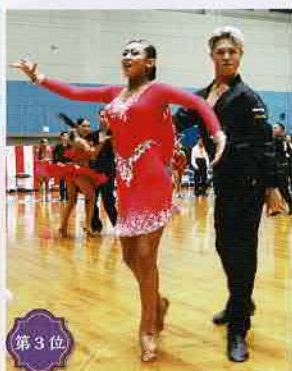
大西大晶・大西咲菜 組
(ハッピー Happyクローバー)



チューダー アンドレイ・吉川あみ 組
(ファミリアD.S.C)



今年初の日本のコンペで優勝できとても嬉しい。この後のグランプリ戦も楽しく頑張りたいです。今西君と妹のペアと同じ表彰台に立つことができ嬉しいです



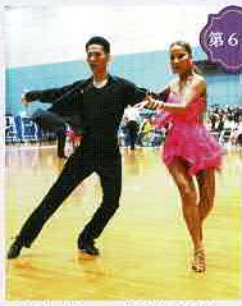
今西竜矢・大西陽来里 組
(ブルボンDST)



太田歩生・松本京佳 組
(TEAM YUMIYA HOKKAIDO)



押川慧悟・和田知世 組
(DSC神奈川)



岡内唯一・岡内暖羽 組
(ジュニアD.S.C.大阪)

彼らはユース選手としてもあと一年あるので、世界で活躍してくれるのが楽しみです！下の世代からの追い上げはとても嬉しく、兄弟としても負けられないと身の引き締まる思いです (大西大晶選手談)

シニアI選手権スタンダード



森川豊則・鈴木悠夏 組
(DSC大阪)



野口雄一朗・奥野亮子 組
(東京都DSC)

シニアII A級戦スタンダード



村上和穂・金子真弓 組
(愛知県DSC)



岡田明義・岡田祐子 組
(塩尻D.S.C)



大西組と今西・大西組



シニアIスタンダード表彰式



シニアIIスタンダード表彰式

PDグランプリカップ スタンダード



優勝

オレクシー グザー・太田史圭子 組
(リズムメディア)



準優勝

久保田弓椰・徳野夏海 組
(TEAM YUMIYA HOKKAIDO)



第3位

山岸圭太・石本美奈子 組
(エムダンスアカデミー)



第4位

高橋一昌・高橋由紀子 組
(幸手K&Yダンスクラブ)



第6位

秋谷孝宏・田原美穂 組
(エムダンスアカデミー)



第5位

喜多田芳起・細田千代組
(ザユニールデンバレス大阪)



今年の初試合がこの京都グランプリです。沢山の熱い応援をいただき、優勝することが出来、とても嬉しく思います。昨年から導入された新しい取り組みにより、決勝ではタンゴのソロやクイックステップのデュエルがありました。昨年はスローフォックストロット、今年はタンゴの課題フィガーがあり、どのように自分達の味にしていけるか試行錯誤して作り上げてみました。まだまだ改善する所はありますが、今出来る自分達のパフォーマンスが出来て良かったです

ジュニア スタンダード



優勝

吉岡栄太・勝木里桜組
(ファミリアD.S.C.)



準優勝

茂呂駿舞・今村朱里組
(ジュニアアスリートクラブ)



準優勝

ジュニア ラテン



準優勝

原澤英大・竹之内梨音 組
(ジュニアアスリートクラブ)



優勝

藤枝大河・宮澤めぐ 組
(ADSジュニア)

JDSF A級戦 スタンダード

牧嶋直将・笠松舞奈 組
(ファミリアD.S.C)



準優勝

小田悠貴・山本登紀子 組
(東京都・個人登録)



優勝



第3位

松村健樹・松村栄子 組
(奈良県直轄)



ジュニア スタンダード表彰式



ジュニア ラテン表彰式



JDSF A級戦 スタンダード表彰式



JDSF B級戦 スタンダード表彰式



JDSF C級戦 スタンダード表彰式



JDSF D級戦 スタンダード表彰式



JDSF B級戦 ラテン表彰式



JDSF C級戦 ラテン表彰式



JDSF D級戦 ラテン表彰式

第48回全東北学生競技ダンスラテン5種目戦並びに 第51回全東北学生競技ダンススタンダード5種目戦2024

2024年6月9日(日)／山形大学小白川キャンパス第一体育館

主催：全東北学生競技ダンス連盟

主管：山形大学競技舞踏部

全東北学生競技ダンス連盟副会長 神宮 周二



開会式

全東北学生競技ダンス連盟は1971年(昭和46年)2月、寒
い岩手大学の構内で発足しました。前年の5月1日、新入社
員として慶應義塾大学や提携校の戸板、山脇、池坊短大の多
数の皆様に上野駅で見送りを頂き、特急で6時間半、夕方5
時頃、盛岡駅に上司の課長一人に迎えられ、生まれて初めて
岩手県の土を踏みました。当時の全日本学連は、東部、中部、
西部、九州、北海道の学連が既に存在し比較的遅い創立でし
た。工場事務の仕事の合間にダンス教室(ダンスホールを持
つ川井教室)を覗いたら、練習に来ていた岩手大学の学生数
人と知り合い、麻雀や酒を飲みながら連盟創立の話をし、12
月に岩手、弘前、山形、東北、宮城教育大学の学生諸君に「か
わいダンスホール」に集まってもらい、「全東北学生舞踏交
歓会」を開催。模擬競技会も経験して正式な「全東北学連」
発足の準備に入りました。

宮城教育大学の脱退もありましたが、2001年(平成13年)
には山形大学が17年間のブランクからの復活と福島大学の
新加盟があり、2016年(平成28年)には秋田大学が加盟して、
現在の東北6県6大学(全て国立大学)の体制となりました。

この間、全東北学連が誇る、全国の学連をリードしてき



左から坂本幸児先生、松浦孝俊JBDF常務理事、神宮副会長、福山博之会長(東北大学教授)、小嶋みなど・盛田めぐみ組

た事項があります。

- ①全日本戦の大学別背番号のシャッフル(昭和49年)
- ②全国に先駆けた学生服着用の原則廃止(昭和63年)
- ③ヴェニーズワルツ、ジャイブの夏大会競技正式種目化(令和元年)

本大会は1974年(昭和49年)にプロトップの単独ジャッ
ジでスタートしましたが、東日本大震災の年(2011年)は
現役トッププロ瀬古薫希・知愛組を招き、以後、プロアマ
問わずトップ選手として活躍中の現役選手や引退間もない
トップ選手を招聘し、ジャッジのみならず閉会式の講評に
替えて講習会と模範演技を時間の許す限り実施。学生だけ
ではなく、ご来場の一般愛好家の方々にも楽しんでいただ
ける大会となりました。

本年度のジャッジは、アマ・プロが同じフロアで戦うバ
ルカーカップスタンダードで見事優勝した全日本チャンピ
オン小嶋みなど・盛田めぐみ組と、幼稚園(ヒルズ学園)
時代の園長でダンスの師匠でもある坂本幸児先生、最大の
プロ団体JBDFから松浦孝俊常務理事を招聘し、私を含めた
5名が担当しました。

団体戦

東北大学の主将、川田紘斗・
熊井ゆい組(東北大学)に
優勝カップ(吉田震太郎杯)
と賞状が贈られました。



東北大学



山形大学



福島大学

スタンダード
5種目戦



浅野瑛・松本奈々組(岩手大学)

優勝

高橋秀虎・相澤怜奈組(東北大学)



準優勝

楠義矢・保坂仁子組(東北大学)



第3位

ラテン
5種目戦



第3位

吉本有秀・大西夏鈴組(東北大学)



第4位

佐藤文大・伊藤杏奈組(山形大学)



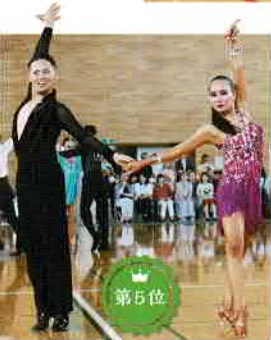
第5位

鎌田啄豊・堀田千鶴組(東北大学)



第6位

飯島陸公・伊藤里緒奈組(福島大学)



第5位

藤野匠悟・及川幸組(山形大学)



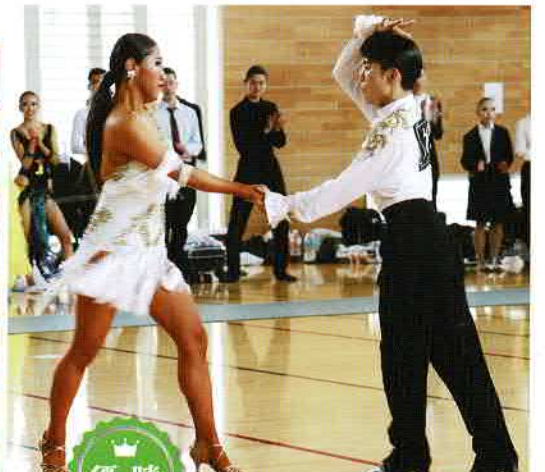
第4位

寺澤宏太・松本珠美組(山形大学)



準優勝

橋本暹平・土田夏菜組(岩手大学)



優勝

川田紘斗・熊井ゆい組(東北大学)



第6位

上國料巧丸・大岡里萌組(福島大学)



第7位

中里嘉希・菅原みさき組(山形大学)



松浦孝俊先生のラテンアドバイス(及川幸大会実行委員長と)



全日本スタンダードチャンピオン小嶋みなと・盛田めぐみ組による模範演技と講習会



「ダンスが与えてくれたもの」

前 駐モルドバ共和国特命全権大使 片山 芳宏

競技ダンスとの出会いは、私がウクライナに駐在していた2006年の秋でした。その後もルーマニア、東京、ケニア、モルドバ共和国、そして定年退職後の現在まで、かれこれ18年間の付き合いになります。

私が日本大使館の経済担当参事官としてウクライナの首都キーウ（キエフ）に着任したのは、この国で「オレンジ革命」という政治変動が起きた2004年でした。初の単身赴任でしたので健康維持のためジム通いを始めたものの、ランニングや器械体操だけの単調なメニューに飽きてきた頃に偶然知ったのが、競技ダンスでした。市内中心部にあるダンスクラブ「Yuventa」の2006年秋に開始した初心者グループには50人以上の参加者があり、ウォームアップも基礎練習なども、私には全てが興味深く新鮮でした。レッスンへの参加を続けると、メロディーに合わせてパートナーと共に体を動かすことで仕事の疲れも不思議と消えたように感じました。こうして私は2008年4月に隣国ルーマニアに転勤するまでの2年弱、スタンダードとラテンの基礎を楽しく学びました。

ルーマニアの首都ブカレストに着任後しばらくして市内のクラブ「Hobby Dance」に入れてもらい、ここでも基礎練習を始めました。ところが、数カ月後にペアを組んで一緒に練習することになったお相手から競技会への参加を強く求められた時から、私のダンスは急展開。大使館では総括役として忙しい毎日でしたが、パートナーさんの熱意にも押されて競技会にもほぼ毎週末に参加するという生活となりました。仕事で夕食会やレセプションに参加する日以外は上位入賞を目指して每晚レッスンを続けることとなり、私は2013年1月の帰国まで、約3年半の間に100回以上の大会に出場しました。



ルーマニア国営テレビの年末助け合い番組に出演した筆者（左端）。二人の若者たちとは三週間の練習を積み、生放送に臨みました（2011年12月ルーマニア・ブカレスト市）

なお、ルーマニアで参加した著名な国際大会の場で、私は隣国モルドバ共和国のクラブによるフォーメーション演技を目にして圧倒されました。それが、ヨーロッパ全体に知られていた強豪、「Codreanca（コドリャンカ：ルーマニア語で「森の娘」の意）」というクラブでした。ご縁とは不思議なもので、約10年後の2020年1月、私は駐モルドバ特命全権大使のお役目をいただくことになるのでした。

モルドバ共和国は、ウクライナとルーマニアに挟まれた場所にある九州ほどの国土に260万人が暮らす小国です。温暖な気候と肥沃な土壌などのおかげもあり、上質のワイン造りが有名ですが、それと同時に、競技ダンスの世界では欧州強豪国の一つとして広く知られています。その理由が長年にわたる「Codreanca」の活躍であり、クラブを創設して長年指導を続けてきたベトル・ゴズン氏とスベトラナ夫人の手腕です。

大使としてモルドバに着任した私は仕事に励んだ一方、2020年8月にゴズン夫妻を訪問して「Codreanca」の一員として受け入れてもらえることとなり、夫妻が探してくれたイリナさんとペアを組んで練習を始めました。厳しいレッスンを続けた2年後の2022年8月、私たちのペアは世界最高レベルとも言われる「ジャーマン・オープン選手権」のシニアⅣスタンダードでセミファイナリストになりました。



モルドバの著名クラブ「Codreanca」でのレッスン風景。筆者の右がパートナーのイリナ・ブルンザーリさん。右の二人が、モルドバに競技ダンス大国の基礎を築いたゴズン夫妻（2021年10月）



2012年5月ルーマニア・シビウ市の大会にて



ジャーマン・オープンにて(2022年8月ドイツ・シュトゥットガルト市)

振り返ってみると、私はダンスを通じて二つの貴重な楽しみを得たことに気がきます。まずは、身体を使った技能の習得を音楽に親しみながらできること、男女が一緒になって協力して取り組めることです。あらゆる世代の人々が楽しむことができる上に、特に高齢者には心身両面の健康維持にも資するというのは、社交ダンスの大きな魅力でしょう。そしてもう一つは、人との出会いという点です。私は、素敵なパートナーさんたちと一緒に競技ダンスに取り組み、そして、指導力や人間的魅力にも溢れたコーチの皆さんのお世話になってきました。さらに、ダンスを通じた交流によりさまざまな方々ともお知り合いになることもできました。自分のダンス経験を振り返ってみて改めて、こんなダンスをたくさんの人たちに楽しんでもう一度と願うものです。

モルドバ大使からの報告

国際交流分野を志す
若者の皆さんへ

片山芳宏
Katsuyuki Katayama

外交活動の最前線できざまな課題にチャレンジを続けた若者が、厳しくも充実感に満ちた43年間を振り返ってつづる現場報告。

モルドバでの猛練習の日々のことやジャーマン・オープンでの奮闘模様などは近著、「モルドバ大使からの報告—国際交流分野を志す若者の皆さんへ—」(メディアジョン社刊)で詳しくご紹介しています。

東京オープンに出場

5月19日のオープンシニアⅣオープンスタンダード戦にイリナさんとモルドバ共和国として出場しました。

日本滞在中のイリナさんとお嬢さんのサーシャさんの印象は極めて良いものでした。「約2週間の日本滞在を心から楽しめた。競技会の運営も素晴らしく、関係者の皆さまに感謝します」とのメッセージを頂戴しています。



パートナーのイリナさんとお嬢様のサーシャさん



Yoshihiro Katayama & Irina Brinzari 組
(Republic of Moldova)

The Junior Ultimate Challenge Cup

京都府ダンススポーツ連盟理事 谷口小夜子



6月2日(日)、京都府ダンススポーツ競技会に先立ち、西宇治体育館においてジュニアの競技会が開催されました。昨年の暮れに、ジュニア育成部からGD西部ブロックに対して「団体の垣根を越えジュニアを育てましょう!」という要望を出していただきました。早速その取り組みとして、台湾出身のアショウ・ゼン(Ashiou Tseng)氏、京都府ダンススポーツ連盟会長の谷口主嘉が中心となり、新しい試みのジュニア競技会の開催について話し合いました。JDSFと他団体のジュニア育成に携わる方々が発起人となり、「The Junior Ultimate Challenge Cup」を開催する運びとなりました。

試合には30名が参加、カップル部門に13組、ソロ部門には26名、計26部門が行なわれ、3時間に及ぶ熱い戦いが繰り広げられました。会場では選手のご家族を始め沢山の方々の応援で盛り上がり、審判員もGD2名・PD2名・他団体から3名が担当し、ジュニアの未来に夢が膨らむ試合となりました。



大会発起人の皆さん。写真右より京都府DS連盟・阪田員郭副会長、JPBDAの岡村弘人氏、大阪府DS連盟・天道貞一会長、アショウ・ゼン氏、JDSF-PD西部ブロック・岡田大輔副委員長、GD西部ブロック・谷口主嘉委員長。円内はJDSF-PD西部ブロック・水田晃司副委員長



出場したジュニア選手たち



全日本選手権10ダンス2024

2024年世界10ダンス代表選手選考会

6月2日(日)／名古屋市稲永スポーツセンター

毎年6月、名古屋市を舞台に“世界10ダンス”の日本代表(1組)を選出する選手権が、2年ぶりに稲永スポーツセンターで開催されました。2021年からの4連覇を狙う大西組と昨年準優勝のチューダー&吉川組が見応えある熱戦を展開しましたが、大西組が10種目すべてを制して日本代表の座を獲得しました。



愛知県の
林全宏副知事の祝辞



斎藤嘉隆参議院議員
(立憲民主党)の挨拶



鈴木康介大会実行
委員長
(中部ブロック運営委員長)

全日本選手権10ダンス



優勝 大西大品・大西咲菜組(富山県)



準優勝

チューダー アンドレイ・吉川あみ組(東京都)



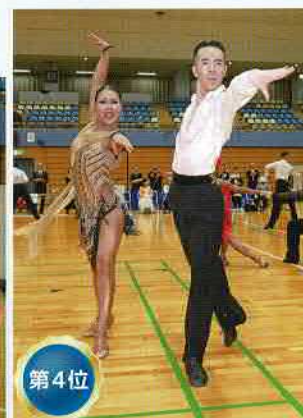
第6位

山下遥聖・山下実彩妃組(愛知県)



第5位

杉山大悟・須田美咲組(東京都)



第4位

向山翔矢・馬場梨紗子組
(北海道)



第3位

太田歩生・松本京佳組(北海道)



優勝

馬淵亮一・馬淵邦美組
(福井県)



準優勝

後藤祐一郎・後藤 香組
(愛知県)



第3位

石川鎮一・石川敦子組
(愛知県)



第3位

田代 浩・田代智子組
(三重県)



優勝

鈴木真也・伊藤直美組
(京都府)



スタンダード表彰式



ラテン表彰式

パリオリンピック日本選手団結団式&壮行会

パリオリンピック日本選手団結団式&壮行会

場所：代々木第2体育館（結団式）⇒東京体育館（壮行会）

開催日：2024年7月5日（金）

JDSFブレイクダンス本部選手強化部長

渡邊 将広

(JOCハイパフォーマンスディレクター)



布村幸彦JDSF会長、山田淳副会長と日本代表团。上段右が筆者

JOC派遣パリ五輪ブレイキン日本選手団

渡邊 将広
(JOCハイパフォーマンスディレクター)
石川 勝之
(JOCナショナルコーチ)
福島 梨絵
(JOCナショナルコーチ)
伊佐 和敏
(JOCトレーナー)
半井 重幸
(B-BOY : Shigekix 日本選手団旗手)
大能 寛飛
(B-BOY : Hiro10)
湯浅 亜実
(B-GIRL : Ami)
福島あゆみ
(B-GIRL : Ayumi)



JDSFブレイキン結団式色紙
(最上部は布村会長「最高へ!」、
中央は石川勝之のコーチ「Let's Go!!」)



結団式を終えて、市原則之JDSF副会長(元JOC副会長)、神宮周二広報部相談役、
宮崎多加子顧問と日本代表团

壮行会

東京体育館で行なわれた壮行会には、招待された小学生や抽選で選ばれた一般の人など約6千人が集まり、結団式を終えた選手が大きな歓声で迎えられました。司会は松岡修造氏と高橋尚子氏が務め、会場が1つとなって「届け勇氣、頑張れ日本!」と選手たちに声と手拍子でエールを送りました。



結団式

7月5日、パリ五輪に臨む日本選手団結団式が代々木第2体育館において秋篠宮皇嗣殿下、秋篠宮皇嗣妃殿下ご臨席のもと開催されました。冒頭、JOC三屋裕子副会長は「自覚と責任、一体感を醸成する貴重な機会。パリでは100年ぶりの開催となり、スローガンは広く開かれた大会です。能登半島地震で被災された方や、復興に取り組んでいる方に勇氣や笑顔を届けることを期待します」と挨拶されました。

秋篠宮さまは「皆さま一人ひとりがスポーツを通して世界の各国、各地域から集う人々との交流を深められ、国際親善に務められることを願っております」と選手を激励され、JOC三屋副会長から尾縣貢団長に団旗が授与されました。旗手は、パリ大会唯一の新競技であるブレイキンの半井重幸選手と女子はフェンシングの江村美咲選手です。

最後に旗手が選手団を代表して決意表明。江村美咲選手に続き半井重幸選手は「応援を一步



決意表明

オリンピック予選シリーズ(OQS) 最終ブダペスト大会日本代表選手決定

OQS (The Olympic Qualifier Series) は上海(5月16~19日)に続きハンガリーのブダペスト(6月20~23日)で開催されました。この予選で女子は日本勢が2大会連続で表彰台を独占し湯浅亜実(Ami)が優勝、準優勝の福島あゆみ(Ayumi)が代表枠2つに決定。男子は2大会の合計ポイントで大能寛飛(Hiro10)が菱川一心(Issin)を僅かに上回り日本代表を決めました。



日本代表に決定! 喜びの3人(Road to Paris) 左から、
湯浅亜実(Ami)、大能寛飛(Hiro10)、福島あゆみ(Ayumi)

ダンススポーツグランプリ & PDグランプリカップ in 北海道2024

2024年5月26日(日) / 道立総合体育館 北海きたえーる・サブアリーナ

新緑を迎える5月にしては気温が9℃と冬を思わせる寒い日となりましたが、会場は観客で満席、熱気に溢れる大会となりました。開催にあたり金子和裕JDSF北海道ブロック委員長は「グランプリ戦は、全国各地域の皆さまにトップ選手のダンスをご覧頂きたいので、北海道から九州まで開催されています。正式公開競技となる2028年の長野国スポに向けてダンスの普及発展、特にジュニアの育成を目指して尽力していきたい」と挨拶しました。ご来賓の藤沢澄雄北海道議会議員は「初めて拝見したが圧倒された」と挨拶されました。

競技終了後、金子和裕ブロック委員長、久保田弓椰選手、徳野夏海選手、TEAM YUMIYA HOKKAIDO 所属の選手たちが率先して加わり、スピーディに後片付けが進められました。



高橋毅北海道DS連盟会長



挨拶される藤沢澄雄 & 植村真美北海道議会議員



金子和裕JDSF常務理事 北海道ブロック委員長

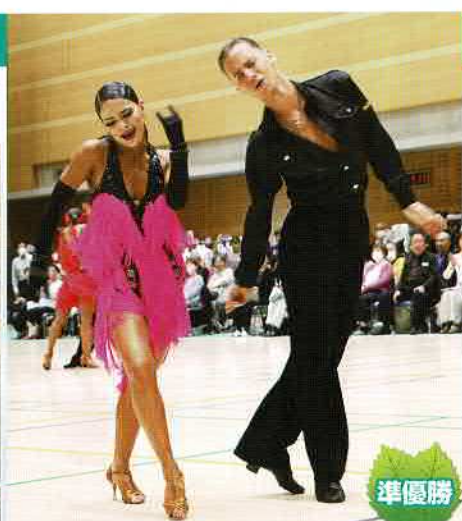
グランプリラテン

大西組はチャンピオンの貫禄を示し5種目すべてに1位を獲得、優勝を飾りました。



大西大品・大西咲菜組
(Happy クローバー)

国内のグランプリラテンは昨年の静岡、仙台、今年の京都に続き連続優勝となります。皆さまのご声援に感謝しています。今後の大きな目標としては、11月にタイで行なわれるアジアインドアゲームズ(4年に一度)で日本代表として出場しますが、そこでしっかりとメダルを取れるように頑張ります！



第2位
チューダー アンドレイ・吉川あみ組
(ファミリアD.S.C.)



第3位
今西竜矢・大西陽来里組
(ブルボンDST)



第6位
押川慧悟・和田知世組
(DSC神奈川)



第5位
太田歩生・松本京佳組
(TEAM YUMIYA HOKKAIDO)



第4位
ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組
(ブルボンDST)

JDSF B級戦 スタンド



表彰式



準優勝
侯耀介・鈴木花梨組
(北海道大学競技舞踏部)



第3位
阪上道正・野田綾子組
(シャルウィダンス北海道)

JDSF B級戦 ラテン



優勝
B級Stも優勝
押切雅易弥・押切萌琉組
(北海道DSC)



表彰式



準優勝
小原遼史・小原菜々華組
(北海道DSC)



第3位
菅原亜衣菜・菅原莉愛奈組
(TEAM YUMIYA HOKKAIDO)

PDグランプリカップ スタンダード

第3位

高橋一昌・高橋由紀子 組
(幸手K&Y
ダンスクラブ)

準優勝

久保田弓椰・徳野夏海 組
(TEAM YUMIYA HOKKAIDO)

優勝

オレクシー グザー・太田吏圭子 組
(リズメディア)

第6位

見元克至・北畑香織 組
(アサノダンススクール)

第5位

秋谷孝宏・田原美穂 組
(エムズダンスアカデミー)

第4位

喜多田芳起・喜多田千代 組
(ザ・ゴールデンパレス大阪)

自分たちがこれまで何連勝したのか初めて数えてみたのですが、2016年の三笠宮杯から前回のグランプリ京都までで27回の試合に出場して、2018年の仙台グランプリ以外は全て優勝しています。三笠宮杯はアマチュアから数えて8連勝しています。コーチ、家族や皆様のサポートのおかげです。いつも応援ありがとうございます

JDSF A級戦 スタンダード

A級戦1位とグランプリ戦の北海道出身トップ選手に贈られる北海道知事杯をダブル受賞しました。

表彰式

優勝

太田歩生・松本京佳 組 (TEAM YUMIYA HOKKAIDO) 武内研聖・古市和奏 組 (D.T.S相模原、神奈川県) 中島瑠大・岡田愛彩 組 (TEAM YUMIYA HOKKAIDO)

準優勝

第3位

シニアI 選手権 スタンダード

優勝

表彰式

大嶋隆義・秋吉花音 組 (東京都直轄) 高杉耕一・高杉綾子 組 (東京都DSC) 野口雄一郎・奥野亮子 組 (東京都DSC)

準優勝

第3位

JDSF C級戦 スタンダード



小原遼史・小原菜々華 組(北海道DSC)

優勝

JDSF D級戦 スタンダード



橋本大地・橋本爽風 組(シャルウィダンス北海道)

優勝

JDSF C級戦 ラテン



横沢利玖・横沢優羽 組 (TEAM YUMIYA HOKKAIDO)

優勝

シニアIV スタンダード



今井正幸・今井由香 組 (東京都DSC)

優勝

プレジュニア ラテン



菅原亜衣・横沢優羽 組 (TEAM YUMIYA HOKKAIDO)

優勝



横沢利玖・菅原莉愛奈 組 (TEAM YUMIYA HOKKAIDO)

準優勝

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ



※19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

ダンス・ダンス・ダンス
第112号 (Summer)

令和6年8月発行

■ 発行人／山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟副会長)
■ 編集人／神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
■ 編集長／奥水洋一 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
■ 企画／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
■ 発行所／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857
<https://www.jdsf.or.jp>

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。